

令和5年度事務事業評価（令和4年度事後評価）

監査事務局

所属名	事務事業名	ページ番号
監査事務局	監査事務	2

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	監査事務	事業期間	昭和 24 ~ 年度
担当部署・係名	監査事務局	担当課長名	福田 喜隆
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市の財務事務及び行政事務が法令に適合し、正確に行われているか、また、行政経営が合理的かつ能率的に行われているかについて、監査等を行う。 (監査等の種類) ①財務監査（定期監査、工事監査） ②行政監査 ③財政援助団体等監査（出資団体、公の施設の指定管理者、補助金等交付団体）④例月現金出納検査 ⑤決算審査 ⑥基金の運用状況審査 ⑦財政健全化判断比率等審査 ⑧随時監査（住民の直接請求・議会・市長の要求・住民監査請求に基づく監査）				
事業の対象者	市（公営企業含む）の各部署、財政援助団体等				
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業法、地方公共団体の財政の健全化に関する法律、佐賀市監査基準				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	1,460	1,805	1,867		
うち佐賀市の負担額	1,460	1,805	1,867		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
監査等実施数（定期・行政・財政援助団体等監査、例月現金出納検査、決算審査等）					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
85	77	75			

活動実績②					単位
指摘事項等件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
24	20	13			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

限られた監査資源を有効に活用するため、重点項目を設定した監査や内部統制に依拠した監査を実施しているが、合規性等だけでなく、3E（経済性、有効性、効率性）の観点を取り入れたより効果的な監査の実施方法や適正な監査サイクルについて、検討、見直しを行っていく。